

水田コレクション
名品展

近代美人画にみる美の競艶

— 芳年から深水まで —

2013年10月29日(火)～11月16日(土)

◎開館時間／午前10時～午後4時 ◎休館日／日曜日・月曜日・11月1日(学園祭準備の為) ※学園祭により11月3日(日)、4日(月)は開館
◎会場／城西大学水田美術館ギャラリー1 ◎入館料／一般300円 高校生以下無料



図版 上=錦木清方《富士額》部分、絹本着色、一面

左下=伊東深水《春の夕暮》絹本着色、一面、昭和12年(1937)

右下=上村松園《美人納涼図》部分、絹本着色、一面、昭和初(1925～34)頃



城西大学水田美術館

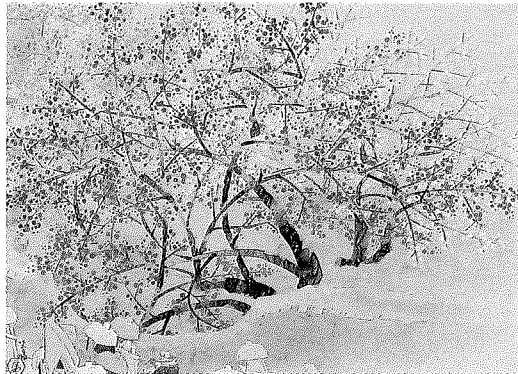
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI UNIVERSITY

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1 お問い合わせ先: 049-271-7327 <http://www.josai.ac.jp/~museum/>

水田コレクション名品展

近代美人画にみる美の競艶

— 芳年から深水まで —



1



2



3



4

1. [特別出品] 前田青邨《紅白梅》紙本着色、一幅、昭和期
2. 山川秀峰《弥生》絹本着色、一面、昭和10年代(1934~44)
3. 月岡芳年《風俗三十二相 かわゆらしう 明治十年以来内室の風俗》大判錦絵、明治21年(1888)
4. 《諸名家画帖》より松本楓湖「児島高德(備後三郎)」絹本着色、一帖 ※当館初公開

明治時代に入ると、画家(絵師)たちは、西洋文明からもたらされた油彩画や写真技術などに見られる、写実性に優れた表現手段に刺激を受け、フェノロサ、岡倉天心の指導の下、新しい「日本の絵画」の主題、技法、そして指針を模索していました。

また、浮世絵の世界においても、石版や写真が木版にとってかわり、錦絵の時代も終焉を迎えます。そして、浮世絵に描かれた市井の情緒は、風俗画や美人画へと受け継がれていきます。

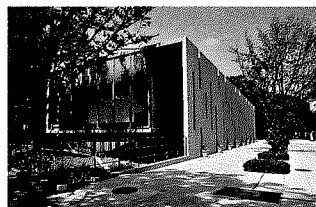
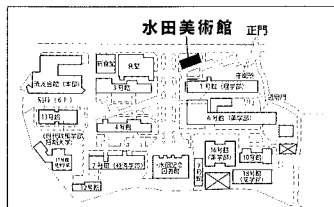
水田コレクションは、創立者水田三喜男が蒐集した浮世絵コレクションとして広く知られていますが、近代日本画の作品も所蔵しています。

この度の展覧会では、本年水田家寄贈の鐔木清方、上村松園、伊東深水といった近代を代表する画家の美人画3点を中心に、近

代美人画をテーマにした展示を行います。最後の浮世絵師月岡芳年《風俗三十二相》からはじまり、浮世絵の風情を確かに継承した清方、松園、深水のほか、北野恒富や山川秀峰の美人画もご紹介、画家それぞれが目指した女性美の表現をご覧ください。

また、特別出品として新収蔵品の中から前田青邨、菱田春草の作品も展示いたします。そのほか、近代日本画の大家横山大観と並び称される下村観山の作品や、橋本雅邦、松本楓湖ら明治大正期に活躍した画家たちによる《諸名家画帖》(当館初公開)、近代画家82名が赤穂事件を描いた木版画集《義士大観》も合わせてご紹介します。

豊かな広がりを見せた近代日本画の一端をご覧いただき、コレクションの一味違った側面をお楽しみ頂ければ幸いです。



- 【交通案内】
- 電車の場合
東武東上線板橋駅乗換えで東武越生線川角(かわかど)駅下車、踏切を渡り徒歩10分
 - お車の場合
1. 関越自動車道鶴ヶ島インター下車、鶴ヶ島方向に進み国道407号線を直進 2. 「御折町四丁目」交差点で右折し、左にローソン、右に狩野動物病院の看板がある交差点で右折 3. 一本松交差点を毛呂山方面に直進 4. 橋(万年橋)を渡り、「明海大学病院」の看板のある交差点を左折し、直進、踏切を渡り坂道を上る(約20分)

【関連企画】

■講演会

11月15日(金) 午後1時30分～午後3時

※聴講無料/要予約

演題:「鐔木清方の系譜と近代の美人画」

講師:宮崎 徹氏

(鎌倉市鐔木清方記念美術館副館長・主任学芸員)

場所:17号館(経営学部棟)1階プレゼンテーションルーム

■ギャラリートーク(当館学芸員による展示解説)

11月16日(土) 午後1時30分～

※参加無料

城西大学水田美術館
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI UNIVERSITY

〒350-0295 埼玉県板橋市けやき台1-1 【開館時間】午前10時～午後4時【休館日】日曜日・月曜日
お問い合わせ先: 049-271-7327 <http://www.josai.ac.jp/~museum/>